

ひまわり在宅ケアステーション 原 繁

功 績	持ち前のバイタリティーと発想力で新規相談の増加・他事業所からの評価向上と職場環境改善に大きく貢献した功績
推 薦 者	在宅ケアステーション 所長 佐藤俊之
推 薦 理 由	新しい職場で利用者さんや職員へ自分自身を受け入れてもらう為に人一倍努力し取り組む仕事に対する姿勢や特技を生かし新たに障害者相談事業所からの案件増加・評価向上に貢献。短期間で業務の幅を広げ、職員が日々働きやすくなる良い職場環境作りにも貢献したことから理事長賞に推薦させていただきます。

内 容

原は在宅ケアに異動してきて5か月が経過します。以前は同法人の介護老人保健施設しおんのデイケアで勤務しておりましたが、長年同じ場所で働き続けることでの職場の馴れ合い、環境の変化を求めて思い切って当事業所の在宅ケア（訪問介護）へ異動を志願してきました。最初は業務の手順の違いから不慣れな部分もあり、思い違いや制度を理解するまで戸惑いが見られましたが、持ち前のバイタリティーとやる気で挫折することなく、どんな問題にも背を向けずに努力していました。自ら問題提起をしメンバーと一緒に解決、少しずつ職場内の環境は良くなり他の職員へ波及し、前向きな意見多くなり職場が活性化しました。

また、原の参加により、新しい繋がりが増えました。特に障がい者相談支援事業所からの相談依頼の増加（知的障がい者の方の余暇活動）。もともと、原がスポーツをしていたことで普段運動不足がちな障がい者の方の移動支援（余暇活動）の中で卓球やバスケットボール、バドミントンなどを一緒に行うという相談が急増しました。職員目線ではなく利用者さんと同じ目線で取り組む事、競い合う事を上手く兼ね合わせ利用者さんにとって今までになかった良い刺激を与えられるようになり、それが大きな成果に繋げられたとして多事業所から評価され、新規紹介の増加に繋げる事ができました。

高齢者介護の中でもその場その場の対応力と適応力、料理の腕前もかなりのもので利用者さんからお褒めの言葉を頂いております。訪問業務以外でも業務の枠は広がり、現在では「在宅ケアICTアンバサダー」、「ICT委員会」、「在宅ケアTQMメンバー」、「サービス提供責任者業務」と様々な業務の要となっています。

様々な役割を与えられても断る事なく、めげることなく、前向きに取り組む姿勢がまわりの職員に伝わり、異動してまだ5か月しか経過していないものの原への職員の信頼は非常に高く、もう何年も一緒に仕事をしてきたかのような存在になっております。今では原のおかげで在宅ケアの向く方向が同じ目線になったように感じます。また、今まであまり変化のなかった事業所に「新しい風」を吹かせる存在になったように思います。